

## 散歩道

大山町の

大山中学校

の「こんに

ちは赤ちゃ

んふれあい

会」が始ま

ってから4年目を迎えました。年々赤ちゃんを連れてお母さんの参加が増え、なかには夫婦での参加もあります。今年も生徒対赤ちゃんが1対1でかわれるくらい参加者が増え、1回参加されたお母さんは、次回も参加したいと好評です。

高塚准教授の赤碕高校での9年間の人間関係体験学習を展開させた「こんにちは赤ちゃん」が、平成18年から鳥取大学地域支援事業の一つとして始められたのが発端です。0歳児とのお父さん

## 「こんにちは赤ちゃんふれあい会」

ん、お母さんと生徒（中

学、高校、大学生）との

ふれあいタイムを通して

参加者相互の学びの場を

提供しています。そこで、

わが子の通う大山中学校

でもぜひ始めたいと、19

年からスタートしまし

た。

町の教育長にお願いす

ると、快く校長先生に電

話してくださいました。

私も学年部長をしていま

したし、講師を務めてく

ださる子育てアドバイザー

の松本さんが校長先生

と同級生、学年主任が家

業として入れてくださっ

たことなどでスムーズに

始めることができました

た。町教育委員会の支援

でスタッフも充実し、安

心して実施できていま

す。

親になって初めて赤

ちゃんを抱いたという人も

多く、こういう時代だか

らこそ、赤ちゃんと触れ

合う機会をつくり、地域

の子どもは地域で育て合

おう一言言葉に、将来、

パパ、ママになるであろ

う人のためのイメージづ

くりや、親になっている

人には、あらためて親と

しての自覚とこれからの

子育てへの意欲につながる

る場になっていきます。

「こんにちは赤ちゃんふ

れあい会」は、命を大切

に思える人間づくりの事

業の一つ、継続していき

たいと思っています。

田中 恵子（大山町稲

光、助産師、50歳）